

平成26年度

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行
の状況についての点検及び評価に関する報告書

徳 島 市 教 育 委 員 会

平成26年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書の提出について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定により、平成26年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書を次のとおり提出する。

平成27年9月10日提出

徳島市教育委員会

第1章 はじめに

1 教育委員会の所掌事務に係る点検・評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）により、教育委員会は、①毎年、②教育長等に委任された事務を含む教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、③外部の学識経験者の知見も活用しつつ、点検及び評価を行うこととし、④その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされています。

徳島市教育委員会では、本市行政評価システムの手法を活用しながら、その所管する事務事業の有効性や効率性について見直しを行い、報告書を作成するとともに、教育行政のより効果的で効率的な運営ができるよう取り組んでまいりましたが、平成22年度に「徳島市教育振興基本計画」を策定し、本報告書における点検・評価にあたっては、「徳島市教育振興基本計画」における理念、目標及び基本方針を反映したものとなるよう作成しています。

点検・評価の具体的な項目や指標、報告書の様式等については、法令に特段の定めがないため本市行政評価システムの評価様式に準じたものとしておりますが、市民目線に立って、より見やすく、より分かりやすいものとなるように、今後も引き続き改善に努めてまいります。

※平成27年3月には、第1期の「徳島市教育振興基本計画」での理念、目標、基本方針を継承した、新たな5年間の本市教育の指針となる「徳島市教育振興基本計画」（第2期）を策定しています。

2 本報告書の構成について

徳島市教育委員会の活動を、(ア)教育委員会の活動状況、(イ)教育委員会が管理・執行する事務（教育委員会の会議に諮られる事項）、(ウ)教育委員会が管理・執行を教育長に委任している事務（事務局が実施する事務事業）の3項目に分類し、点検・評価した結果について次のとおりまとめ、報告することとしています。

(1) 教育委員会活動報告……(ア)及び(イ)

教育委員会の就任状況や教育委員会の会議の開催状況等について記載しています。

(2) 教育委員会の所掌に係る事務事業の概要……(ウ)

教育委員会の所掌に係る事務事業について、平成26年度の概要をまとめ、記載しています。

(3) 事務事業に係る点検・評価に関する結果一覧……………(ウ)

教育委員会の所掌に係る事務事業の点検・評価結果を項目ごとに一覧できるよう、本市行政評価システムの様式を参考に表形式で記載しています。

なお、今回の点検・評価に伴う学識経験者の知見の活用につきましては、徳島文理大学短期大学部教授の阿部頼孝氏、徳島大学准教授の多田耕造氏にそれぞれ所見をいただきました。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律〔抜粋〕

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

第2章 平成26年度教育委員会活動報告

1 教育委員会組織

○ 委員の就任状況(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

氏名	平成27年3月31日現在の役職	異動状況
佐藤 文子	委員長	
濱野 正裕	委員長職務代理者	
中村 久子	教育委員	
木下 成三	教育委員	
石井 博	教育長	

2 教育委員会の会議等開催状況

毎月1回定例会を開催した。(臨時会は必要に応じて開催)

(1) 平成26年度の会議開催状況

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
定例会		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
臨時会		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

(2) 平成26年度の議案等の付議状況

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
議案		3	3	4	5	3	2	1	9	2	5	11	13	61
協議報告事項		-	3	-	1	-	-	3	4	2	1	3	-	17
計		3	6	4	6	3	2	4	13	4	6	14	13	78

(3) 定例会での主な審議内容

○ 議会の議決を経るべき議案(18件)

徳島市幼稚園条例の改正、徳島市立小学校設置条例の改正、指定管理者の指定、平成27年度の教育委員会の所管に係る予算、平成26年度の教育委員会の所管に係る補正予算、工事請負契約の変更等

○ 教育委員会の定める規則の制定に関する議案(14件)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整備、徳島市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正、教育長の勤務時間、休暇等に関する規則の制定等

- 社会教育委員等の附属機関の委員の任命に関する議案（5件）
社会教育委員、図書館協議会委員、徳島城博物館協議会委員、考古資料館協議会委員、
スポーツ振興審議会委員等の任命
- 事務局職員及び教育機関の職員の人事に関する議案（12件）
- その他の議案（12件）

3 その他の活動

(1) 委員研修会等への参加

- 県・市町村教育委員会教育行政連絡協議会
日 時 平成26年4月3日（木）
場 所 総合教育センター
参加者 教育委員長・教育委員3名・教育長
内 容 ・平成26年度教育重点施策説明
・各課等施策説明 等
- 平成26年度全国市町村教育委員会連合会定期総会
日 時 平成26年5月30日（金）
場 所 東京都
参加者 教育委員長
内 容 ・文部科学省 講演
「初等・中等教育の課題と動向について」
・文部科学省 重点事項説明
「教育委員会制度改革について」

(2) 教育功労者表彰の実施

- 教育功労者表彰式
日 時 平成26年11月4日（火）
場 所 徳島市役所 13階 大会議室
参加者 教育委員長・教育委員1名・教育長
内 容 徳島市の教育、学術及び文化の振興発展に貢献したものを表彰
・被表彰者 48名（団体2を含む。）

- 日 時 平成27年2月27日（金）
場 所 教育長室
参加者 教育長
内 容 徳島市の教育、学術及び文化の振興発展に貢献したものを表彰
・被表彰者4名（団体1を含む）

(3) 学校訪問の実施と報告

月 日	曜	訪 問 先	内 容
5月12日	月	上八万中学校	授業参観、経営方針について、生徒・保護者・教職員・地域の様子についての報告
5月13日	火	八万中学校	授業参観、生徒指導の活性化が図られていること、地域の協力体制についての報告
5月13日	火	宮井小学校	授業参観、学校に対する保護者の目が厳しいこと、体力づくりについての報告
5月14日	水	富田中学校	授業参観、校内研修の充実、チャレンジ精神を大切に「命の授業」の報告
5月14日	水	大松小学校	授業参観、高学年の算数の習熟度別学習の状況、子ども中心の学校づくりについて報告
5月15日	木	内町小学校	授業参観、経営方針について、生徒・保護者・教職員・地域の様子についての報告
5月16日	金	北井上小学校	授業参観、経営方針について、生徒・保護者・教職員の様子、学校行事についての報告
5月16日	金	入田小学校	授業参観、家庭学習の充実について、小規模校のよさを生かした学校経営についての報告
5月23日	金	福島小学校	授業参観、経営方針について、校区内の児童養護施設との連携についての報告
5月26日	月	上八万小学校	授業参観、経営方針について、生徒・保護者・教職員・PTA活動についての報告
5月26日	月	方上小学校	授業参観、コンプライアンス意識の向上、特別支援学級の在籍児童についての報告
5月27日	火	応神小学校	授業参観、「リズム・バランス・タイミングのよい学校運営・教育活動」についての報告
5月27日	火	加茂名中学校	授業参観、「安心できる学校生活」について、徳島大学院内学級の実態についての報告
5月30日	金	昭和小学校	授業参観、経営方針について、生徒・保護者・教職員・地域の様子、食育についての報告
5月30日	金	新町小学校	授業参観、生徒・保護者・教職員の実態、小規模校ならではの取り組みについての報告
6月 3日	火	助任小学校	授業参観、経営方針、児童数増加による環境面、日本語支援児童増加についての報告
6月 3日	火	加茂名小学校	授業参観、経営方針、児童の実態について、地域・関係機関との連携についての報告
6月 4日	水	飯谷小学校	授業参観、経営方針について、休校のこともあり、近隣校との交流についての報告
6月 4日	水	渋野小学校	授業参観、経営方針について、大雨の度に冠水する状況、環境教育についての報告
6月 5日	木	沖洲小学校	授業参観、経営方針について、生徒・保護者・教職員・校舎立替の状況についての報告
6月 6日	金	佐古小学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員・地域の様子、スマイル集会についての報告
6月 6日	金	北井上中学校	授業参観、生徒・保護者・教職員の様子、自尊感情を高める手立てについての報告
6月 9日	月	南部中学校	授業参観、経営方針について、生徒・保護者・教職員の様子、広い校区についての報告

月 日	曜	訪 問 先	内 容
6月 9日	月	八万南小学校	授業参観、経営方針について、生徒・保護者・教職員・地域の様子についての報告
6月10日	火	徳島中学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員の様子、生徒指導の現状についての報告
6月10日	火	応神中学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員・地域の様子、活力ある学校についての報告
6月11日	水	富田小学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員・地域の様子、学力向上についての報告
6月11日	水	論田小学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員・地域の様子、習熟度別学習についての報告
6月12日	木	川内北小学校	授業参観、経営方針について、保護者の教育熱の高さ、施設の老朽化対策についての報告
6月13日	金	入田中学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員の様子、地域との交流についての報告
6月13日	金	加茂名南小学校	授業参観、生徒・保護者・教職員・地域の様子、6年生の生徒指導の実態についての報告
6月16日	月	城東小学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員・地域の様子、児童数増加についての報告
6月16日	月	城西中学校	授業参観、経営方針について、生徒・教職員の様子、「熱血教師塾」についての報告
6月17日	火	川内南小学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員の様子、支援の必要な生徒についての報告
6月17日	火	川内中学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員の様子、部活動の取り組みについての報告
6月18日	水	八万小学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員の様子。学級経営の詳細についての報告
6月18日	水	城東中学校	授業参観、経営方針、生徒・教職員・地域の様子、「れいめい学級」についての報告
6月19日	木	津田小学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員・地域の様子、防災教育についての報告
6月20日	金	不動小学校	授業参観、経営方針について、生徒・保護者・教職員・地域の実態についての報告
6月23日	月	千松小学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員・地域の様子、研究指定についての報告
6月23日	月	一宮小学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員・地域の様子、家庭科教育についての報告
6月24日	火	不動中学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員・地域の様子、学力向上についての報告
6月24日	火	南井上小学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員の様子、「くすっ子読書デー」についての報告
6月26日	木	国府小学校	授業参観、経営方針について、生徒・保護者・教職員・地域の様子についての報告
6月27日	金	津田中学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員・地域の様子、体育館の活用についての報告
6月30日	月	国府中学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員・施設設備の要望等についての報告

月 日	曜	訪 問 先	内 容
9月 8 日	月	入田小学校	授業参観、学校の現状についての報告、複式解消加配への要望
9月 8日	月	論田小学校	授業参観、学校の現状と課題についての報告、留任希望者の現状について、
9月 9日	火	宮井小学校	学校の課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
9月 9日	火	新町小学校	学校の現状と課題についての報告、教員の勤務状況について、教室訪問・授業参観
9月10日	水	津田中学校	学校の課題についての報告、初任者の配置についての要望、教室訪問・授業参観
9月11日	木	八万小学校	教室訪問・授業参観、学校の現状と課題についての報告、異動の希望について
9月16日	火	南部中学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
9月17日	水	内町小学校	学校の課題についての報告、特別支援学級の現状について、教室訪問・授業参観
9月17日	水	富田小学校	教室訪問・授業参観学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望
9月18日	木	城西中学校	学校の現状と課題についての報告、異動希望について、教室訪問・授業参観
9月22日	月	不動小学校	学校の現状についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
9月22日	月	佐古小学校	教室訪問・授業参観学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望
9月24日	水	不動中学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
9月24日	水	北井上中学校	教室訪問・授業参観学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望
9月25日	木	富田中学校	学校の現状と課題についての報告、加配と定欠教員についての要望、教室訪問・授業参観
9月30日	火	方上小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
9月30日	火	福島小学校	教室訪問・授業参観学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望
10月1日	水	徳島中学校	教室訪問・授業参観学校の現状と課題についての報告、加配についての要望
10月2日	木	国府中学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月6日	月	入田中学校	学校の現状についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月6日	月	八万中学校	教室訪問・授業参観学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望
10月7日	火	飯谷小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月7日	火	大松小学校	教室訪問・授業参観学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望

月 日	曜	訪 問 先	内 容
10月 8日	水	加茂名中学校	学校の現状と課題についての報告、異動希望について、教室訪問・授業参観
10月 9日	木	川内北小学校	学校の現状についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月14日	火	加茂名南小学校	教室訪問・授業参観学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望
10月15日	水	川内中学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月16日	木	城東中学校	教室訪問・授業参観学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望
10月20日	月	北井上小学校	学校の現状と課題についての報告、加配と定欠教員についての要望、教室訪問・授業参観
10月20日	月	応神小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月21日	火	上八万小学校	教室訪問・授業参観、学校の現状と課題についての報告、異動の希望について
10月21日	火	城東小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月22日	水	応神中学校	学校の課題についての報告、特別支援学級の現状について、教室訪問・授業参観
10月22日	水	沖洲小学校	教室訪問・授業参観学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望
10月23日	木	八万南小学校	学校の現状と課題についての報告、異動希望について、教室訪問・授業参観
10月27日	月	津田小学校	学校の現状についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月28日	火	昭和小学校	教室訪問・授業参観学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望
11月17日	月	助任小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
11月18日	火	一宮小学校	教室訪問・授業参観学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望
11月19日	水	千松小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
11月20日	木	国府小学校	教室訪問・授業参観学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望
11月25日	火	南井上小学校	学校の現状と課題についての報告、加配と定欠教員についての要望、教室訪問・授業参観
11月25日	火	上八万中学校	学校の現状と課題についての報告、異動希望についての要望、教室訪問・授業参観
11月26日	水	渋野小学校	教室訪問・授業参観学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望
11月26日	水	川内南小学校	授業参観、学校の現状と課題についての報告、加配についての要望
11月27日	木	加茂名小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観

第3章 教育委員会の所掌に係る事務事業の概要

1 生涯学習の推進

科学技術や社会構造の変化、高齢化や自由時間の増大に伴い、生涯学習推進の中核である社会教育において、個人的人間的価値に加え、社会的価値を追求する視点が重要になってきたことを受けて、地域の課題解決を目的にした事業として、「放課後子ども教室推進事業」、「地域学遊塾運動」、「地域住民交流促進事業」などの事業を実施し、地域における教育力の向上に努めてきた。

さらに、図書館においては、平成24年4月1日に駅前アミコビルに移転し利便性を向上させるとともに、面積を旧図書館の3倍とするなど施設を充実させたことにより、利用しやすい図書館づくりに取り組んだ。図書館サービスも、市民にとって身近で役に立つ図書館を目指して、新しい図書館にふさわしい運営方針「①子どもの成長支援・②地域の成長支援・③市民の学習支援」に沿った多くの新たなサービスを展開することにより、市民生活への浸透を図り、3年間で161万人以上の来館者があった。

考古資料館においても、引き続き指定管理者と連携して、新しいイベントの開催などにより事業を充実させ、利用者への利便性とサービスの向上を図った。

2 学校教育の充実

幼稚園教育の充実については、子育て支援の一環として未就園児への園の開放事業や、就園を奨励するため一定の条件に該当する保護者の保育料負担の軽減を目的に、私立幼稚園に対しては補助金を交付し、徳島市立幼稚園に通園する保護者に対しては保育料の減免を行った。平成19年度からは第3子以降の園児の保護者に対しても保育料の負担の軽減を図っている。

また、より質の高い幼稚園教育を提供することを目的として平成26年4月に徳島市立幼稚園再編検討委員会を設置、再編計画を策定して実施に取り組んでいるところである。

小中学校教育の充実については、学校評議員制度の導入やオープンスクールなどの実施により、開かれた学校づくりに取り組んでいる。また、教職員と子どもとの信頼を基盤とした教育活動の推進を目指して、体罰防止検討委員会を立ち上げ、研修資料のリーフレットを作成するとともに、全教職員に配布して活用している。

高等学校教育の充実については、市高の魅力・特色づくりの一環として、外国語指導助手の専任化、姉妹都市サギノー市にある州立大学へ生徒12名を15日間派遣し、語学研修や文化交流を実施した。また、市高生「夢」実現応援事業を実施し、学力向上の推進や部活動の強化に努めた。施設面では、PFI方式により校舎等の維持管理に努めた。

特別支援教育については、学校教育法改正に伴い、平成19年4月から「特殊教育」から「特別支援教育」への転換が図られ、子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導支援が重要となっている。

そのため、学習支援ボランティア等を学校に派遣し、担任の補助等、個々に合わせた支援を行うとともに、教職員に対しては、研修会等を開催し、指導力の向上を図った。また、文部科学省から「発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援研究事業」を受託し、通常学級における特別な支援の必要な児童への対応について研究した。その成果は、徳島市特別支援教育実践事例データベースで公開し教員の指導力向上につなげている。

学校（園）施設の整備・充実については、幼児・児童生徒が安心して学校（園）施設を利用できるよう、旧耐震基準で建設された校（園）舎などについて、計画的に補強事業（完了済）・改築事業を行い、学校（園）施設の耐震化の推進を図った。

また、各幼稚園、小学校、中学校の校舎及び給食室の改修工事保全整備を実施したほか、幼稚園トイレの洋式化を進めるなど、教育施設の整備充実を図った。

さらに、防犯対策として、門扉やフェンスなど計画的に整備し、安全・安心な学校づくりに努めた。

教育支援体制の充実については、障害のある幼児や児童生徒がよりよい教育を受けられるように適切な学びの場や指導支援についての相談や調査を行った。

また、低所得世帯の児童生徒の保護者に対しては就学援助を実施し、経済的理由により大学への就学が困難な者に対しては奨学事業を実施し、それぞれ経済的支援を行った。

国際理解・交流活動の推進については、外国青年を外国語指導助手として雇用し、市内の小・中・高校に定期的に派遣している。児童生徒が、外国語指導助手との交流を通じて、生きた英語や外国文化について直接学ぶことで、国際理解を深められる環境づくりに努めた。

小学校英語活動の推進のために、英語活動サポーター派遣事業を実施し、英語が堪能な地域人材や学生ボランティアを希望する小学校へ派遣した。また、英語教育における小中連携を推進するため、英語教育小中学校担当者会を実施し情報交換を行った。

高度情報化社会に対応した人材の育成については、小中学校におけるICT活用の充実を図るため、教育用コンピュータの整備とICT活用研修に努めた。

3 青少年の健全育成

家庭教育の自立性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供に努め、PTA活動をはじめ、各種生涯学習講座を活用し、子育てに関する学習の機会の充実を図ってきた。

青少年の健全育成を図るため、子どもゼミナール、中学生・高校生ボランティアグループ活動などを実施するとともに、青少年活動を支援する指導者層の拡充を図ってきた。

市民総ぐるみ青少年健全育成活動、地域における子どもの安全対策の推進、街頭補導を中心とした育成補導活動及び電話相談を中心とした相談活動を重点に掲げ、複雑多様化する青少年の問題行動の未然防止、早期発見に取り組むとともに、スクールガードリーダーを2名配置し、登下校時における巡視や各学校の交通安全指導、地域ぐるみで子どもの安全を見守る体制づくりに努めた。

加えて、「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」により、学校PTA、地域団体等の多様な主体によって進められている「生活安全（防犯）」、「災害安全（防災）」及び「交通安全」の取り組みを連携させた地域ぐるみのセーフティネットワークの構築に努めた。

深刻化するいじめ問題について、「いじめ問題等対策チーム」を中心に学校・家庭・地域社会との連携を密にし、平成25年7月に「いじめをなくすために」（教師用指導資料）を発行、平成26年3月に「徳島市いじめ防止基本方針」を定め、いじめの防止・解消に取り組んでいる。

また、高度な機能を持つ携帯電話やスマートフォン等の情報機器を使ったトラブルや事件に巻き込まれたり、いじめ等に利用することがないように、よりよい使い方を指導するための資料を、鳴門教育大学と共著で作成した。

不登校問題については、適応指導推進施設を運営し、不登校状態にある児童生徒に対して、学校復帰や社会的自立に向けての活動や教育相談を行った。また、ひきこもりがちな児童生徒の学校復帰や人とのつながりを支援するため、心理学を専攻している大学院生を家庭に派遣した。

さらに、アンケートを用いた実態把握にも努め、不登校・いじめの未然防止に努めた。

4 スポーツ・レクリエーション活動の振興

市民一人ひとりが、それぞれの興味や関心、目的、体力に応じたスポーツに親しむことができるよう、多様化するニーズに対応できる社会体育指導者の養成と資質の向上を図るため、指導者養成事業を実施した。

また、各種スポーツ事業の開催や支援を行うことにより、市民がスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を充実させるため、市民スポ・レクフェスティバル等の生涯スポーツ事業や、児童生徒の体力向上を目指したスポーツ大会の開催、また、阿波吉野川マラソンをはじめとするスポーツ大会の開催補助を実施した。

さらに、市民が、いつでも、どこでも、だれでもスポーツ・レクリエーション活動を楽しめるよう、スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実を図るため、昨年度に引き続き市立体育館の耐震改修事業に取り組むとともに、吉野川北岸運動広場の土壌改良や球技場駐車場の改修工事を行うなど、施設の機能維持に努めた。

5 文化・芸術活動の振興

文化財の保存と活用については、史跡徳島藩主蜂須賀家墓所の修復整備、史跡徳島城跡の保存管理計画と史跡渋野丸山古墳の保存整備計画ならびに重要文化財三河家住宅の保存活用計画の検討を進め、渋野丸山古墳については、史跡の公有化を図った。

また、犬飼の舞台での阿波人形浄瑠璃の公演、地域に伝わる神踊りや獅子舞の保存・継承による伝統芸能の保護・啓発に努めるとともに、文化財指定や指定文化財の管理・保全を図り、地域住民が主体となる文化財保護活動の支援を推進した。

さらに、開発行為に伴い消滅する埋蔵文化財について、記録保存の発掘調査を実施し、遺跡・遺物の保護を図り、埋蔵文化財の保護についての理解を高めた。

博物館活動として、徳島藩及び蜂須賀家に関わる企画展及び特別展を開催し、重要文化財等の展示公開を徳島城博物館で実施した。また、地域の歴史や文化を示す考古資料を扱った考古資料館、人形師天狗久の工房跡である天狗久資料館での展示公開・教育普及などを通じて、地域づくりを担う地域の歴史や文化を理解した人づくりを推進した。

6 その他の事務事業

(1) 子どもの体力・元気アップ推進事業

子どもたちが健康で明るい生活を送るための基礎となる体力・運動能力の向上を図るため、体育授業への講師派遣を行うとともに、教員体育実技指導者講習会を実施することにより、教員の指導力向上による学校体育の充実に努めた。

また、幼児や児童に対して、外遊びの奨励や運動習慣の啓発を図るため、巡回スポーツ教室を開催することや小学校においてチャレンジ運動種目の記録に挑戦する元気アップチャレンジランキングを実施することで、外遊びや運動に取り組む環境づくりの推進を図った。

(2) 食育の推進

食育を推進するため、「徳島市教育委員会食育推進委員会」及び4つの専門研究部会を開催し、幼稚園及び学校並びに社会教育における食育の課題や推進方法等について検討した。

また、幼稚園及び学校においては、校（園）内食育推進体制を整え食育をより機動的に推進するため、各校（園）において中核的な役割を担う「学校食育リーダー」を置き、各校（園）の「食に関する指導の全体計画」及び平成26年度の「食に関する指導の年間指導計画（案）」を作成した。

なお、平成26年度は、従来卵・そば米に、かに・落花生を追加した4品目において「学校給食における食物アレルギー除去食」の提供を全校46校（小学校31校・中学校15校）で実施した。

さらに、子どもの望ましい食習慣の形成や食に関する理解を深めるため、校内体験栽培作物の給食への活用や、野菜の摂取促進や地場産食材を活用するために新献立を導入した。また、「学校給食アンケート」の実施による児童生徒の状況把握や、「残食を減らそう」啓発ポスターを募集するなど、学校給食が「生きた教材」として活用されるような取り組みを進めた。

(3) 人権教育・啓発の推進

学校教育においては、一人ひとりを尊重する人権教育の推進を図り、様々な人権問題の解決を目指すとともに、社会教育においても、すべての人の人権が尊重される社会づくりを目指した人権教育・啓発を推進した。

特に学校（園）教育においては、教職員の人権感覚を高めるために、人権教育研修の助成事業を継続実施し、児童生徒には人権啓発ポスターや人権作文により、人権意識の高揚を図った。

また、社会教育においては、各種学級・講座に人権教育を計画的に配置するとともに、人権問題学習講座を開設するなど、人権意識の高揚と人権問題について継続的な学習活動を実施した。

(4) 市高生「夢」実現応援事業

自らの「夢と未来」の実現に向かって頑張る市高生を文武両面から支援することによって、学力と技能（スポーツ・芸術）の向上を図り、将来の徳島を担う人材の育成に努め、市立高校が校舎改築を機にさらに輝き、飛躍・発展し、文武両面において四国一の公立高校となることを目指し、予備校講師等による夏期集中講義の開催やスポーツの専任トレーナーの招聘等、学力向上の推進と部活動の強化を実施した。

(5) 防災教育の推進

発生時における幼児・児童生徒及び教職員の安全確保に向けて、全ての学校（園）において防災管理マニュアルを作成し、適宜、点検をして改善を図った。また、教職員を対象に、防災研修会を実施し各校（園）の実態に応じた防災への取り組みを進めるとともに、防災教育発表会を開催し、先進校（園）の取り組みについて情報交換を行うなど、本市における防災教育の充実に取り組んだ。

第4章 事務事業に係る点検・評価に関する結果一覧

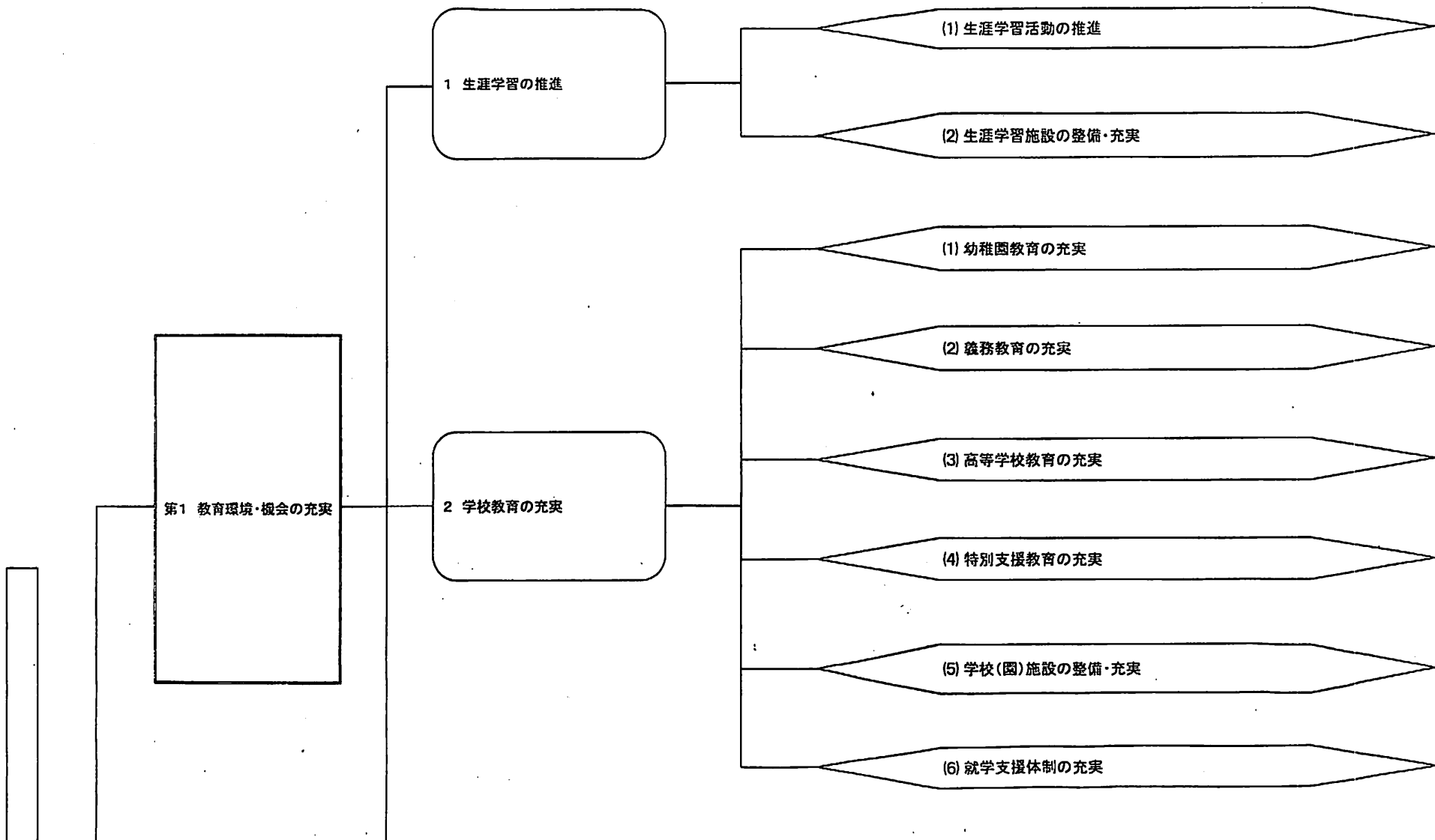
事務事業の体系

[基本目標]

[施策の大綱]

[施策]

[事業群]



第2 スポーツ・文化活動の振興

3 青少年の健全育成

(1) 家庭教育の充実

(2) 青少年活動の充実

(3) 健全育成体制の充実と環境整備

(4) いじめ・不登校問題等への対応

1 スポーツ・レクリエーション活動の振興

(1) 市民主体のスポーツ活動の推進

(2) スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実

(3) スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実

2 文化・芸術活動の振興

(1) 文化財の保存と活用

3 国際交流の推進

第1 教育環境・機会の充実

1 生涯学習の推進

※矢印については、H25実績とH26実績の比較

事業群名	生涯学習活動の推進					第1-1-(1)
目的	市民が生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される生涯学習社会の実現を目指す。					
成果指標の状況	成果指標名	H24実績	H25実績	H26実績	目標(H28)	達成率
	1 主な生涯学習活動への参加者数(人)	55,000	55,432	55,102	65,000	85%
成果指標の達成状況	成果指標は安定的に推移しており、各ライフステージに応じた生涯学習は充実している。					
成果向上のための今後の方向性	市民各層のニーズに応じた学習機会提供の充実を図る。					

※矢印については、H25実績とH26実績の比較

事業群名	生涯学習施設の整備・充実					第1-1-(2)
目的	市民各層が、自立した人間として生きていこうとする学習意欲に応えられるよう、生涯学習の場としての施設等の管理・運営の充実を進める。					
成果指標の状況	成果指標名	H24実績	H25実績	H26実績	目標(H28)	達成率
	1 年間利用者数(人)	132,961	119,154	80,755	178,500	45%
成果指標の達成状況	中央公民館の耐震改修工事により著しく減少したが、今後は各種講座の開催などによるサービス向上により、利用者数が増加していくと思われる。					
成果向上のための今後の方向性	急激な時代の変化に即応した市民各層への学習機会提供の充実を図る。					

2 学校教育の充実

※矢印については、H25実績とH26実績の比較

事業群名	幼稚園教育の充実					第1-2-(1)
目的	充実した幼児教育の提供や預けやすい環境の整備を意図し事業に取り組んでいる。					
成果指標の状況	成果指標名	H24実績	H25実績	H26実績	目標(H28)	達成率
	1 徳島市内幼稚園就園率(%)	50	48	46	55	84%
	2 預かり保育実施園数(園)	26	26	26	25	104%
成果指標の達成状況	3 預かり保育利用延べ園児数(人)	3,932	3,951	4,262	4,048	105%
	成果向上のための今後の方向性	<p>少子化による園児数の減少もあるが、充実した幼児教育や預けやすい環境整備に努力し目標の達成としたい。</p> <p>幼児期においてその発達の特性に沿った幼児教育が受けられるよう制度の拡充、改善を図る。また、教員に対する研修施策等を充実させ、資質や専門性の向上を図っていく。</p>				

※矢印については、H25実績とH26実績の比較

事業群名	義務教育の充実					第1-2-(2)
目的	確かな学力の育成、豊かな心の育成、健やかな体の育成、信頼される学校づくりを意図し様々な事業に取り組んでいる。					
成果指標の状況	成果指標名	H24実績	H25実績	H26実績	目標(H28)	達成率
	1 学校評価に関する保護者へのアンケート実施率(%)	100	100	100	100	100%
成果指標の達成状況	平成20年度から文部科学省により学校評価が義務化され教職員や学校関係者、保護者に対して指導方法・内容等の評価に関するアンケートが実施されている。					
成果向上のための今後の方向性	<p>基礎基本の確実な定着をめざし、様々な教育課題に対応しつつ、個性を生かす教育の充実により、学習意欲・学習習慣の向上を図り、確かな学力を培う。</p> <p>また、指導方法・内容等の充実のため様々な意見をとり入れることが可能な環境の充実に努めていく。</p>					

※矢印については、H25実績とH26実績の比較

事業群名	高等学校教育の充実	第1-2-(3)				
目的	<p>特色ある魅力的な市立高校づくりにより、将来性豊かな有能な生徒募集に反映させる。 また、恵まれた学習環境により、学校生活を充実させ、新しい時代を拓くすぐれた人材を育成する。</p>					
成果指標の状況	成果指標名	H24実績	H25実績	H26実績	目標(H28)	達成率
	1 市高生の国際理解度(%)	70	75	75	75	⇒ 100%
	2 男子サッカー部の公式試合での勝率(%)	77	77	78	85	↗ 92%
	3 英語検定試験合格率(%)	53	56	56	56	⇒ 100%
成果指標の達成状況	事業は順調に進行中である。					
成果向上のための今後の方向性	様々な魅力・特色づくり事業を推進しながら、事業成果を検証して、文武両道の県下に誇れる市立高校を目指す。					

※矢印については、H25実績とH26実績の比較

事業群名	特別支援教育の充実	第1-2-(4)				
目的	<p>徳島市内の幼小中に在籍する特別な支援を必要とする幼児児童生徒に一定の資格や専門知識を有する相談員・特別支援教育指導主事、学習・地域ボランティアを学校に派遣し、教育相談や担任の補助等、個々にあった適切な支援をする。また、教職員には研修会を開催し、資質向上を図り指導力を高める。</p>					
成果指標の状況	成果指標名	H24実績	H25実績	H26実績	目標(H28)	達成率
	1 ボランティア派遣回数(回)	1,885	1,507	1,342	1,800	↘ 75%
	2 教育相談の実施件数(件)	235	306	635	300	↗ 212%
成果指標の達成状況	ボランティア派遣事業の周知を図ることで、ボランティア活動への参加人数を確保し、ボランティア派遣達成率の維持に努める。					
成果向上のための今後の方向性	学習・地域ボランティア、相談員・教職員の特別支援教育に関する専門的知識を高めていくことで、特別な支援を必要とする幼児児童生徒やその保護者にあった教育的支援が可能になると思われる。					

※矢印については、H25実績とH26実績の比較


事業群名	学校(園)施設の整備・充実					第1-2-(5)
目的	子どもたちが安全・安心な環境の中で、充実した教育を受けられる学校(園)施設の整備・充実に努めるとともに、施設の有効活用を推進する。					
成果指標の状況	成果指標名	H24実績	H25実績	H26実績	目標(H28)	達成率
	1 小学校校舎等耐震診断の実施割合(%)	100	100	100	100	⇒ 100%
	2 中学校校舎等耐震診断の実施割合(%)	100	100	100	100	⇒ 100%
	3 幼稚園園舎等耐震診断の実施割合(%)	100	100	100	100	⇒ 100%
	4 小学校耐震補強済み校舎等の割合(%)	95.3	96	96	100	⇒ 96%
	5 中学校耐震補強済み校舎等の割合(%)	98.2	100	100	100	⇒ 100%
	6 幼稚園耐震補強済み園舎等の割合(%)	100	100	100	100	⇒ 100%
成果指標の達成状況	小中学校の耐震化事業については、事業の前倒しにより、目標以上の進捗率となっている。また幼稚園施設についても耐震化事業を積極的に実施した。					
成果向上のための今後の方向性	学校(園)施設の管理・運営に係る諸業務については、法定の業務や義務的な経費は、従前のおおりの執行をしていくことになる。その他の経費については、学習環境の低下を生ずることなく、コストの縮減に努めながら施設環境の保全を図っていく。					

※矢印については、H25実績とH26実績の比較




事業群名	就学支援体制の充実					第1-2-(6)
目的	子どもたちがよりよい教育を受けられるように適切な学びの場や指導支援についての相談や調査を行う。					
成果指標の状況	成果指標名	H24実績	H25実績	H26実績	目標(H28)	達成率
	1 教育支援委員会 判断件数	503	462	531	460	↗ 115%
	2 不登校に関する教育相談を受けた件数	632	449	602	450	↗ 134%
	3 すだち通級生の学校復帰率(%)	60.0	72.0	46.0	80.0	↘ 58%
成果指標の達成状況	教育相談の充実を図ることで、出来る限り通学できるよう支援していく。					
成果向上のための今後の方向性	一人一人の子どもに応じた学びの場を考え、適切な教育支援を行うために、相談支援体制を充実していくことが今後も重要である。					

3 青少年の健全育成

※矢印については、H25実績とH26実績の比較

事業群名	家庭教育の充実					第1-3-1(1)
目的	青少年の健全育成を図る。					
成果指標の状況	成果指標名	H24実績	H25実績	H26実績	目標(H28)	達成率
	1 各種講座等への参加者数(人)	8,082	7,773	9,260	10,200	 91%
成果指標の達成状況	学校・家庭・地域社会が一体となった子育て支援体制の整備に努めている。					
成果向上のための今後の方向性	学校・家庭・地域が連携を図り、社会総がかりで青少年の健全育成を図る。					

※矢印については、H25実績とH26実績の比較

事業群名	青少年活動の充実					第1-3-1(2)
目的	青少年の健全育成を図る。					
成果指標の状況	成果指標名	H24実績	H25実績	H26実績	目標(H28)	達成率
	1 青少年活動に参加している青少年の数(人)	6,440	5,929	4,176	6,500	 64%
	2 市青少年健全育成協議会兼推進大会の参加人数(人)	358	322	378	400	 95%
	3 地区青少年健全育成協議会事業実施回数(回)	393	461	466	450	 104%
成果指標の達成状況	成果指標は安定しており、活動内容も充実している。					
成果向上のための今後の方向性	学校・家庭・地域が連携を図り、社会総がかりで青少年の健全育成を推進する態勢を整備する。					

※矢印については、H25実績とH26実績の比較

事業群名	健全育成体制の充実と環境整備					第1-3-(3)
目的	<p>青少年の健全育成を図るため、非行や有害環境等の直面する課題に対応するとともに、交通、不審者から安全確保するための施策を進める。 その活動を通じてすべての主体が一体となり、青少年を見守る社会づくりを推進する。</p>					
成果指標の状況	成果指標名	H24実績	H25実績	H26実績	目標(H28)	達成率
	1 補導に従事した延べ人数(人)	2,296	2,261	2,271	2,380	95%
	2 少年1,000人あたりの刑法犯少年数(人)	5.9	4.2	4.4	4.0	90%
	3 保護者のフィルタリング認知度(%)			92.9	100.0	93%
	小中高校生におけるフィルタリングソフト活用周知率(%)	56.7	57.7		70.0	
成果指標の達成状況	<p>地域街頭補導の継続が非行防止・犯罪抑止に効果。 有害環境浄化活動において、啓発活動・関係機関との連携強化により、健全育成条例の周知・対応率が向上。</p>					
成果向上のための今後の方向性	<p>環境整備においては、安全・安心につながる、より幅広い活動の展開が重要であり、地域活動の一層の充実が不可欠である。 地域における青少年への関心を高め、これまで以上に学校と地域がつながり、青少年活動等の推進に努める必要がある。</p>					

※矢印については、H25実績とH26実績の比較

事業群名	いじめ・不登校問題等への対応					第1-3-(4)
目的	<p>いじめ・不登校等児童生徒の諸問題に対し、未然防止に必要な学校体制を確立するとともに、早期に適切な相談・支援ができるよう体制の充実、啓発活動の推進を図り、学校・家庭・地域関係諸機関の連携はもとより、すべての大人が一体となった取り組みを行う。</p>					
成果指標の状況	成果指標名	H24実績	H25実績	H26実績	目標(H28)	達成率
	1 各事業における相談を受けた延べ件数(件)	5,294	5,282	6,591	6,100	108%
	2 すだち通級生の学校復帰率(%)	60.0	72.0	46.0	80.0	58%
	3 いじめ解消率(%)	96.9	98.3 (上半期91.6)	85.3 (上半期)	100.0	85% (上半期比較)
成果指標の達成状況	<p>相談支援体制の充実により、様々な問題について着実な相談件数実績。 また、きめ細かな支援を実施し、不登校児童生徒の学校復帰率やいじめ解消率の向上には引き続き努める。</p>					
成果向上のための今後の方向性	<p>いじめ問題及び不登校問題に対し、すべての人が関心をもち、その根絶に向けて取り組めるよう、様々な機会を提供し、啓発活動の充実を図る。 よりきめ細かな相談・支援体制の充実を図り、早期の対応はもとより、専門機関との連携を図る。</p>					

第2 スポーツ・文化活動の振興

1 スポーツ・レクリエーション活動の振興

※矢印については、H25実績とH26実績の比較

事業群名	市民主体のスポーツ活動の推進					第2-1-1
目的	多様化するスポーツニーズに対して各地域で様々なスポーツ・レクリエーションの普及及び指導者を養成する。					
成果指標の状況	成果指標名	H24実績	H25実績	H26実績	目標(H28)	達成率
	1 総合型地域スポーツクラブの設立(団体)	5	3	3	4	→ 75%
	2 スポーツ指導者の養成数(人)	618	630	628	850	↘ 74%
成果指標の達成状況	目標年度にはクラブ数及び指導者数の達成を目指す。					
成果向上のための今後の方向性	市民が、それぞれの興味や関心、年齢、目的、体力に応じて主体的にスポーツ・レクリエーションに親しむことができるよう、組織づくりと指導者養成に取り組む。					

※矢印については、H25実績とH26実績の比較

事業群名	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実					第2-1-2
目的	市民及び競技愛好者に様々なスポーツ・レクリエーション活動を楽しんでもらうとともに体力づくりの機会を提供する。					
成果指標の状況	成果指標名	H24実績	H25実績	H26実績	目標(H28)	達成率
	1 市主催のスポーツイベントへの参加者数(人)	13,793	14,172	25,352	14,000	↗ 181%
成果指標の達成状況	平成26年度は「とくしまマラソン」を2回実施(H26.4とH27.3)したため参加者数が増大した。					
成果向上のための今後の方向性	目標達成は一時的であり、今後もさらなる参加者数の増加を目指し、取り組む。					

※矢印については、H25実績とH26実績の比較

事業群名	スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実					第2-1-(3)
目的	気軽に利用できるスポーツ・レクリエーション施設がある。					
成果指標の状況	成果指標名	H24実績	H25実績	H26実績	目標(H28)	達成率
	1 体育施設利用者数(人)	1,382,607	1,349,112	1,274,464	1,500,000	↘ 85%
成果指標の達成状況	平成26年度は、市立体育館の耐震工事などで利用者数が減少したが、それ以外は概ね目標に近づいている。					
成果向上のための今後の方向性	気軽に利用できるスポーツ・レクリエーション施設として、小・中学校の学校開放を推進する。また、市民スポーツの振興には施設整備が必要であることから、今後は、計画的かつ効果的な施設整備を行う。					

2 文化・芸術活動の振興

※矢印については、H25実績とH26実績の比較

事業群名	文化財の保存と活用					第2-2-(1)
目的	文化財の保護、保存、活用を図ることにより、歴史や文化を対象とした文化財保護団体の活動の支援、自立を促し、地域づくり、人づくりを推進する。					
成果指標の状況	成果指標名	H24実績	H25実績	H26実績	目標(H28)	達成率
	1 市内所在の指定文化財・登録文化財の件数(件)	148	150	149	150	↘ 99%
成果指標の達成状況	文化財の指定・登録を年度ごとに進めている。平成26年度は1件が市外異動により減少した。文化財が多種多様化する現在、文化財としての歴史的・文化的価値を重視した上で、指定・登録化に柔軟さを求めることも必要である。					
成果向上のための今後の方向性	地域の人々の主体的な活動による文化財の保護、活用を推進し、文化財が地域づくり、人づくりの役割を果たすことができる方向性を示す。 市民が、個性ある文化財保護活動を展開することにより、地域に対する愛着を深め、自らが生活する地域に誇りを感じることができるまちづくりを推進する。					

第5章 学識経験者の所見

(1) 生涯学習の推進

図書館においては、平成24年4月1日に駅前アミコビルに移転し利便性を向上させるとともに、面積を旧図書館の3倍とするなど施設を充実させたことにより、利用しやすい図書館づくりに取り組んだ結果、初年度(58万人)を含め三年間で161万人以上の来館者があったことは特筆に値する。これには、図書館業務をより効率的に行うため、「指定管理者制度」を有効に活かしていることも大きな要因の一つであると思われる。

(2) 学校教育の充実

平成26年4月に徳島市立幼稚園再編検討委員会を設置して再編計画を策定したことは、地域の教育環境の変化や保護者の要請に応えるためのものであり高く評価できる。さらに、文部科学省から「発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援研究事業」を受託し、通常学級における特別な支援の必要な児童への対応について研究したことは、極めてタイムリーな取り組みである。その成果を、徳島市特別支援教育実践事例データベースで公開し、教員の指導力向上につなげていることも、先進的な試みとして注目するに値する。今後は、現場での実践的な事例研究の「情報交換・勉強会」を開くなど、この研究を一過性のものでなく、さらに積み上げていくような企画が待たれるところである。

(3) 青少年の健全育成

深刻化するいじめ問題については、平成25年度の「徳島市いじめ防止基本方針」及び「いじめをなくすために」(教師用指導資料)に続いて、平成26年度には鳴門教育大学との共著で「ネットいじめ」や「ケータイ問題」をどう教えるのか<学校で使えるワークシート集>を作成し、いじめの防止・解消に取り組んでいる姿勢は高く評価できる。今後も、「いじめ問題等対策チーム」を中心に、学校・家庭・地域社会との連携強化にさらに努めていただきたい。また、ひきこもりがちな児童生徒の学校復帰や人とのつながりを支援するため、心理学を専攻している大学院生を家庭に派遣したことも、新しい試みとして評価できる。

(4) スポーツ・レクリエーション活動、及び文化・芸術活動の振興

昨年度に引き続き市立体育館の耐震改修事業に取り組むとともに、吉野川北岸の土壌改良や球技場駐車場の改修工事を行うなど、施設の機能維持に努めたことは、市民がいつでも、どこでも、だれでもスポーツ・レクリエーション活動を楽しめるようにするためには必要不可欠な事業であり今後も継続して続けていただきたい。

また、文化・芸術活動の振興の面では、渋野丸山古墳について史跡の公有化を図ったことは高く評価できる。

(5) 食育の推進

平成26年度には、かに・落花生を追加した4品目において「学校給食における食物アレルギー除去食」を提供したことは注目に値する。また、「残食を減らそう」啓発ポスターの募集などの試みは、「学校給食」をより「身近な自分達の問題」として考えさせるキッカケともなるものであり今後も続けていただきたい。

平成27年7月28日

徳島文理大学短期大学部 教授 阿部 頼孝

学識経験者の所見

次の「学校教育の充実」「青少年の健全育成」「食育の推進」の3点に絞って述べてみたい。

(1) 学校教育の充実について

「発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援研究事業」に注目したい。徳島市内のすべての小学校を研究指定校として、各校で実践している「支援・指導のコツや工夫」等をデータベース化し、すべての教職員の指導力向上へとつないだところがすばらしい。まさに徳島市内の小学校全教職員の特別支援教育への熱い思いと智慧の結晶と言える。自分たちの手作りのデータベースだからこそ活用しやすく、効果も期待できると考える。大いに評価したい。

このデータベースを多くの教職員が活用し、追加・改善され、より身近で内容の深いものになることを期待している。また、中学校においても、同様にデータベース化し、小学校、中学校を通して発達障害の児童生徒の早期支援の充実を図っていただきたい。

(2) 青少年の健全育成について

いじめ、不登校は、学校現場では大きな課題である。携帯電話やスマートフォンによるトラブルが増加している。鳴門教育大学と連携して「ケータイ・スマホの指導資料」を作成し、トラブル防止に役立てたのは大いに意味がある。これからは、保護者や地域だけでなく、大学の専門的な知識を活用することで大きな教育効果が期待できる。

不登校においてもメンタルサポーター派遣事業に注目したい。引きこもりがちな児童生徒の家庭に心理学を専攻している大学院生を派遣する事業であるが、「気持ちが安定し明るくなった」「進学に向けて意欲が出てきた」などの成果が表れ、学校復帰率が上がっている。大いに評価したい。さらに利用者が増えるような広報活動をすると共に、大学や大学院などの専門機関との連携を深めることによって、学校に復帰する児童生徒が増えるのではないかと考える。

(3) 食育の推進について

学校給食における食物アレルギー除去食について注目したい。平成26年度から「かに」と「落花生」が加わって、除去食が4品目になったことは大変意義がある。その努力に敬意を表する。このことによって、4品目の食物アレルギーの子どもが、周りの児童生徒と同じ給食を食べる喜びを味わうことができるようになった。大いに評価したい。

校内体験栽培作物の給食への活用は、給食への興味関心が高まると共に、残食を減らす大きな力となる。「学校給食アンケート」や「啓発ポスター」を実施したことも残食を自分たちの問題としてとらえ、減らしていく効果が期待できると考えている。

(4) 総括

以上の3点以外にも教育効果を上げている施策がたくさんあった。どの施策においても幼児、児童生徒をはじめ徳島市民のために、常に前向きに取り組んでいる姿が見られる。今後も着実に積極的な教育行政を期待している。

平成27年7月28日

徳島大学総合科学部 准教授 多田 耕造